

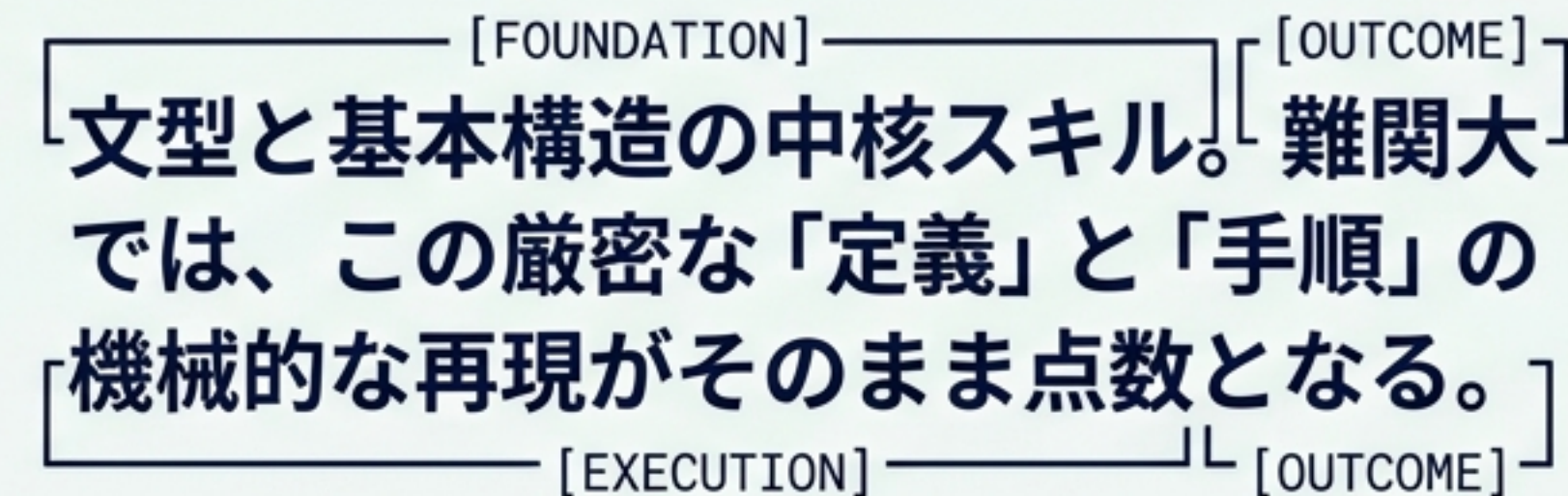
5文型の判別

「英語を」「感覚」で「読んでいないか？」< 文型の曖昧さは、
「模試における同じパターンの反復失点に」> {直結する。}

今日のゴール



受験での位置づけ



第1文型			S	V				自動詞	
第2文型		S	V	C			[S = C]		
第3文型		S	V	O					
第4文型		S	V	O	O			授与	
第5文型		S	V	O	C		[O = C]		

CRITICAL RULE: 補語 C は「イコール関係」が判定の鍵となる。

定義・用語：補語 C (Complement)

- ・主語(S)や目的語(O)の性質・状態・同一物を述べる語。

$S = C$ または $O = C$

が成り立つ。

トリガー動詞（第2文型になりやすい）

be / become / seem / look / feel

核となる手順（答案作成の絶対プロトコル）

1. 動詞 V を
見つける。



2. 目的語 O
があるか？
(何を／誰を)



3. 補語 C が
あるか？
(S や O と
イコールか)



4. 第1～5の
ラベルを
付ける

※計算時、この手順を必ず声に出して実行すること。

例題A (標準・型の確認)

She became a doctor.

V = became (連結動詞)

O はない。

She とイコール → C

解答: 第2文型 SVC

例題B (受験・実戦レベル)

They elected him chairperson.

V = elected

him が O

O とイコール → C

解答：第5文型 S V O C

演習（自力再現と検算）

I gave her a book.

V = gave

≠

her と a book はイコールではない（授与）

条件を確認し、同じ手順で再現できるか「検算する」こと。

解答：第4文型 S V O O

落とし穴（頻出の減点パターン）

0 と C の混同	イコール (=) かどうかで厳密に切る
自動詞に無理に O を読む	動詞の性質を正確に確認する
there 構文で S を取り違える	文構造を手順通りにマッピングする

到達チェック（完璧の条件）

- ☐ ゴール（SVOCを見分け文型を判定できる）を何も見ずに言える。
- ☐ 例題A・Bを白紙で「手順から」完全再現できる。
- ☐ 3つの落とし穴を「なぜダメか」まで論理的に説明できる。
- ☐ 確認クイズで合格点（4/5以上）を獲得した。

NEXT STEP → ME-EN-02

※すべての到達チェックを満たしてから次に進むこと。